

# 第25号

2008年5月20日

# 鳳翔

社会福祉 法人 枳形鳳翔会

介護老人保健施設 遊花園

〒214-0032 神奈川県川崎市多摩区  
枳形 6-4-25  
TEL 044-900-9332

## 兜

陶芸教室で驚く物を制作しました。兜です。ご覧になりましたか？こんなに上手にどうして作ったかのか疑問でしたが。先生「簡単よ、型紙で作ってそれを曲げただけですよ。お雛様もそうして作ったのよ。」ご覧になって下さい。凄いです。



## ツツジ

新緑の季節となりました。街を歩いていると草花の匂いを感じることができます。

特に遊花園まで歩いてくる道には多くの草花が咲いていて五感で季節を感じる事ができます。

五月、目にする機会が多いのがツツジです。車で走っていても道路脇の生け垣に鮮やかに咲いています。ツツジが終わり今度はサツキが咲く頃です。

いま通所のテーブルには白い綺麗な花が飾られています。職員も名前を知らなくて悩んでいると花に詳しい利用者様が教えてくれました。



「それはカルミアだよ」

調べてみるとカルミアもツツジの仲間だそうです。花びらが星形になっていて個人的でほのかなピンク色です。

## オカリナ演奏会

オカリナという楽器の名前を聞いたことがある人は多いだろうが実際にその音色を聴いたことがある人は少ないのではないだろうか？

そもそもオカリナとは、イタリアをルーツにする陶器製の笛でイタリア語で「可愛いガチョウ」という意味である。発明者のイタリア人の本業はお菓子作り職人でお菓子を焼く窯を使ってオカリナを作ったそうである。

四月一四日、通所にそのオカリナの音色を聴かせてくれる七名の女性が来園して

くれた。サークル名は「KH POC(ケーエイチポック)」高校のPTAのお母様達の集まりが始まりで、今では大勢いらっしやるそうだが、今回は精鋭が音色を披露しに来てくれた。

それぞれ自己紹介のあと、まずは「春の小川」、「ちようちよ」、「おぼろ月夜」、「花」と皆が知っている童謡を演奏してくれた。オカリナの不思議な、心に染み渡るような音色によく知っているはずの歌が、いつもと違う歌に聞こえた。利用者の皆様もオカリナの不思議な音色に目を閉じて聴き惚れている人、音に合わせて口ずさんでいる人と様々であった。

懐かしの歌の途中で皆で手遊びをしながら「あんたがたどこさ」を歌ったり、皆で肩たたきをしながら「肩たた

き」を歌ったり、「かえるの歌」で輪唱したりと聴くだけでなく、体を動かして参加できる演出もして下さり、利用者の皆様から笑顔がもれました。

印象的だったのはオカリナの種類について説明してくれたこと。オカリナには大小様々な大きさがあるそうで今回、主に音色を披露してくださったサイズのものが「C管」といい、それより少し小さい物は高い音が出るのだそうで、逆に大きくなったら低く音が出て、更に楽器の重さも少し重くなるのだそうです。

説明をしながら小さいオカリナを使って「高原列車」、大きなオカリナを使って「春の日の花」を吹いてくれました。どちらも「C管」とはまた違った素敵な音色でした

が、特に小さいオカリナはまさしく小鳥が鳴いているような音色でまるで一瞬にして森林の中に来たようでした。



最後は「ふるさと」でしつとりと一時間弱のステージが終了しました。会場は大きな笑顔と拍手で包まれ、「素敵な音色だったわ。」、「オカリナってあんな音が出るのね。」、「よかったわ

よ。」、「またきてね。」、「次はいつ来るのかしら。」など賞賛の言葉で一杯でした。

オカリナの何ともいえない素敵な音色に職員も癒された一日でした。どうもありがとうございました。

(通所職員・上菌知子)

## 端午の節句

新緑溢れる五月四日の日曜日、三階にて五月の誕生日会が行われました。今回は二階と、三階合同という事もあり利用者の皆様お互いに会釈をしたり、「久しぶりね!」と笑顔でお話しをされていきました。

今月の誕生者の方は二階男性の方と女性の方二名でした。誕生会が始まる前、お二人とも皆さんの前に出る

のが恥ずかしいと行くのを迷っておられたそうです。しかし職員がひげそりやお化粧をするうちに段々と笑顔になっていったそうです。そして誕生会がはじまりました！「ハッピーバースデー」の曲の途中、お二人の名前が出てくるとお二人とも照れたような表情をされていました。曲の後にお花をプレゼントしました。「ありがとうございます、これからもよろしく願います。」と挨拶をされると周りの皆様から温かい拍手が送られました。

五月五日は端午の節句です。それにちなんで端午の節句のお話しをしました。「端午」とは五月五日に男子の健康やかな成長を祝い、祈る日本の風習です。遊花園の事務所に前に兜が飾られていたが、鎧兜には男子の身体を守るといふ意味合いが込められているそうです。利用者の皆さんも飾ってある兜を一階へ降りる度に見ておられました。「立派だね」、「息子がいるから私も毎年飾ったよ」、「鯉のぼりは雨が降ると降ろすの大変だったよ」と昔を思い出しおられました。

皆さん知っていますか？「鯉のぼり」という同じ題名で二曲あるという事を！一曲目は「♪いらかの波と雲の波」、二曲目は「♪屋根より高い鯉のぼり…」という歌い出しですが、「知っていましたわ」という方もおられました。「知らないわ」と驚かれてるかたもおられました。



したが、私の心の中は青空が広がっており、そこに鯉のぼりが元気に泳いでいる姿が浮かんできました。曲が終わると紙で作った兜を誕生者の方にかぶって頂き、写真を撮りました。お二人とも素敵な笑顔でした♪

ルールは簡単です。二階の方と三階の方それぞれ別れた形のようになります。スタートの合図でボールを早く回し終えたチームの勝ちです。「頑張るぞ！」とワクワクさかしている方や「上手にできるかしら…」と不安そうにしてる方もいましたがゲームが始まると周りの声援に癒えてかお互い協力し合いながら楽しんでゲームに参加されていました。隣同士声を掛け合ったり、しっかりとボールを持つのが難しい方を助けたり、どちらのフロアもチームワーク抜群です！何度もゲームをやっていると声援の音が大きくなってきました。「こつちだよ」、「早く！」、「しっかりとボールを持ってね！」、「頑張れ！」と参加されている方、職員ともに一

生懸命です！そして結果は  
：二階の優勝でした♪

閉会の挨拶が終わると「またね」と声を掛け合ったり、手を振ったりされていました。その後もおやつ、ロールケーキを食べながら、誕生会や節句についてのお話して盛り上がりました。

(三階職員・中谷愛)

## 収穫に向けて！

夏日となり半袖でないと過ぎにくくなった五月八日の午後、二階、三階の利用者様九名でサツマイモの苗植えと枝豆の種を蒔きました。

遊花園の屋上には菜園があり『園芸部長』である後関さんが丹念に手入れをして下さり毎年多くの作物が収穫されています。

屋上は太陽からの日差し

も直に受けるため麦わら帽子も用意し万全の体制で臨みました。利用者の皆さんいざ始まると真剣な表情も見せ一生懸命に植えていきます。利用者さん同士や職員と冗談を言い合いながらあつという間に用意していた苗がなくなり見事植えることができました。

今回はサツマイモだけでなく枝豆の種も蒔きました。昨年は失敗作で幻の豆腐で終わってしまいましたが、再度今年も挑戦してみました。たわわな実りを楽しみにして下さい。

利用者さんはもちろん、職員も収穫を首を長くして待っています。文化祭には是非おみやげになるよう楽しみにして下さい。



## 景色の変化

一日で目の前の山がきれいに伐られてしまい眺めがすっかり変わって驚きました。でも心配はありません。平成22年までに綺麗に整地され、また緑の山に生まれ変わるそうです。日々変わる姿を窓から楽しんで下さい。

追伸：伐採中にスズメバチが出て追いかけられたそうです。

## 散歩の風景

庭園にいると風と共に甘い香り、利用者さんが、「不思議な香りどこからかしら？」

「夏みかんの花の香りです」

「夏みかんも食べられて、花の香りも聞けていいね」

「蜂蜜はとれないの？」

「蜂蜜までは…」

「残念だね」

散歩での会話です。

## お知らせ

・入所者の方は入所時に健康福寿手帳の提出が義務付けられております。まだ提出されていない方は事務所まで提出下さいますようお願い致します。

